

九州芸文館

アーティスト・イン・レジデンス

サテライト企画展

山口 貴一

「筑後△山口貴一」



3.4 thu ▶ 3.10 wed 10:00 - 17:00
GALLERY BEM 作家在廊日: 3.8 mon

観覧
無料

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名1丁目11-29 TEL:092-721-6829

アーティストが国や文化の違いを越え、異国の地域社会に身を置き、異なる文化や歴史の中で、暮らしや人々との交流を通して発想し、滞在制作を行います。

今回はコロナ禍によって海外作家招聘と国内作家の海外派遣を中止し、九州芸文館にて国内作家の交流事業を行う事となりました。昨年までに韓国・釜山の Hongti Art Center へ海外派遣した2名の作家を九州芸文館に招聘し、滞在制作を行います。

現在、本拠地に滞在している2名の作家は3月16日からスタートする滞在制作の成果展にさきがけて福岡市内の博多・天神大名の2カ所同時に展覧会を実施し、九州芸文館アーティスト・イン・レジデンス滞在作家を多くの方に知っていただきたいと願っています。

◆ Artist



山口 貴一 TAKAKAZU YAMAGUCHI

学生時代から約15年、私は人体などの具象的な形態を表現していた。しかし、2017年の九州北部豪雨を目の当たりにしたその日から、これまでの約3年間は抽象的な形態を主に表現している。私は筑後で生まれ育った。自分の出発点であるこの地で、自分がどのような作品を生み出すのか楽しみだ。 ※2018年度 派遣(韓国・釜山)

◆ 木を土で / 2021

◆ サテライト企画展 同時開催別会場 ◆

黒田 恵枝 “Current Location”

◆ 場所

ギャラリー港民館

〒812-0026

福岡県福岡市博多区上川端町 9-35 冷泉荘 A-32

観覧無料

3.4 thu ▶ 3.10 wed 10:00-17:00

作家在廊日: 3.8 mon



No.143 もりもけもの / 2020

◆ Artist

黒田 恵枝 YOSHIE KURODA

使われなくなった衣類を主な素材として、ぬいぐるみや人形、彫刻などの立体造形の概念を横断する創作形態に取り組み、空想の生き物の立体シリーズ『もりもけもの』や、素材の衣類を用いたインスタレーション、ミュージックビデオへの作品提供等々の活動は多岐に渡ります。

※2019年度 派遣(韓国・釜山)



九州芸文館アーティスト・イン・レジデンス

【成果展】

2021. 3.16 tue ▶ 3.28 sun 10:00-17:00

【滞在制作期間】 2021. 2.2 tue - 3.28 sun

※制作活動の都合により、作家は常駐ではありません。/ 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)

観覧
無料

【場所】九州芸文館

〒833-0015 福岡県筑後市大字津島 1131 ※休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)
九州芸文館 HP: <http://www.kyushu-geibun.jp> (※右の二次元コードから)

【お問い合わせ】

TEL:0942-52-6435/FAX:0942-52-6470/e-mail:info@kyushu-geibun.jp



新型コロナウイルス感染症防止についてお願い

- 発熱がある方(37.5度以上)や体調の悪い方は来館をお控えください。37.5度以上の発熱がある場合は、ご来館をお断りしています。
- ご来館の際は、必ずマスクを着用してください。●イベント中止や日時が変更になる可能性があります。詳細は九州芸文館にお問い合わせ頂くか、HPにて最新情報をご確認ください。